池内淳 Atsushi IKEUCHI
准教授 Associate Professor
修士（図書館情報学） Master of Library and Information Science
Keywords: 図書館評価、公立図書館政策
Contact: atsushi@slis.tsukuba.ac.jp

IMAGINE THE FUTURE.

Graduate School of Library, Information and Media Studies
筑波大学 University of Tsukuba

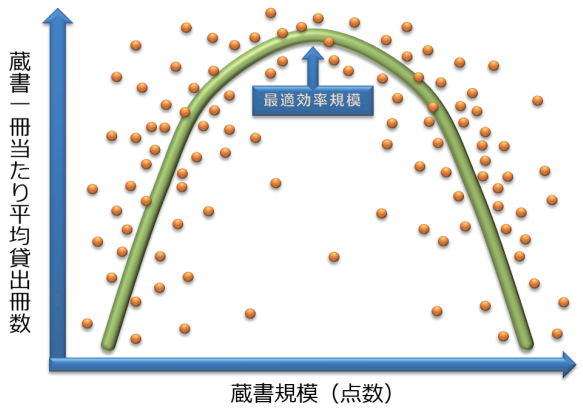
研究概要

図書館評価や公立図書館政策に関するさまざまな規範的・実証的分析を行っています。現在、日本には、約 1,400 の自治体が存在し、3,000 以上の公立図書館が設置・運営されていますが、図書館はそれぞれ、量的にも質的にも様々に異なっています。また、公立図書館は生涯学習や読書推進のための施設としてだけではなく、近年、まちづくりの拠点や地域の情報拠点などと認識され、コミュニティにおける位置づけの重要性を増しつつあると言えます。それにともなって、多様なステークホルダーが図書館に携わるようになりました。自治体を取り巻く環境の変化と情報メディアの多様化の中で、図書館をどれだけ設置し、どのように運営することが、社会的厚生という観点から、より望ましいのかについて、種々の定量的研究を行っています。具体的には、公立図書館の最適規模の導出、非市場財である公立図書館サービスの貨幣価値の測定などです。また、近年は電子書籍市場の動向とその図書館サービスへの影響についても関心を持っています。

www.slis.tsukuba.ac.jp

公立図書館の最小効率規模に関する実証的研究

一般に、図書館や書店は大きければ大きいほど良いと考えられていますが、財政的制約、あるいは、効率性という観点からは必ずしも支持されません。
これは自治体の人口規模についても同様のことが言えますが、一定の水準までは「規模の経済」がはたらいて効率的になるものの、ある水準を超えると、再び非効率になっていく現象がしばしば認められます。
そこで、図書館の効率性を代表する様々な指標を用いて、図書館の最適な規模を定義しました。



論文

1) 池内淳：仮想評価法による公共図書館の経済評価．日本図書館情報学会誌，49 巻，3 号，89 ～ 107，2004.
2) 池内淳：公共図書館の生産関数と効率性の分析．日本図書館情報学会誌，48 巻，2 号，49 ～ 72，2002.
3) 池内淳：公共図書館の最適規模に関する実証的研究．Library and Information Science，46 号，1 ～ 36，2001.
4) 池内淳：公共図書館における費用便益分析．日本図書館情報学会誌．45 巻，3 号，95 ～ 108，1999.
5) 池内淳：大学図書館効果の次元．Library and Information Science，39 号，1 ～ 29，1998

メッセージ

公立図書館に関する諸制度やサービスの態様、ならびに、それらを取り巻く情報環境や出版流通の制度などの研究に関心のある学生や大学院生と研究を行っています。なお、当研究室における過去の修士論文の研究テーマは以下の通りです。「日本の図書館協議会に関する総合的研究」「表示媒体の違いと読書の諸要素が誤りを探す読みに与える影響」「公立図書館における利用規則」「大学図書館におけるソーシャルメディアの利用に関する実態調査」「公立図書館における指定管理者の導入要因」など。